

S.C.WORKS 今週のスタディ！

【ヘッドライン】

- 1) 「日本コカ、初の機能性食品 水で“眠りサポート”」
- 2) 「あなたのピザは今ここ！ ドミノ、スマホで追跡」
- 3) 「ハラル対応、ネットで指南 ハラル・ジャパン協会が開講」
- 4) 「がん患者様向けの食品通販サイト“らくぱく” オープン」

---

1) 「日本コカ、初の機能性食品 水で“眠りサポート”」

日本コカ・コーラは5月9日、全国のドラッグストア中心に機能性表示食品の飲料水「グラソー スリープウォーター」を発売する。「健やかな眠りをサポートする」と訴え、20-40歳代の女性を中心に需要を開拓していく。

睡眠の質を向上するとされる茶系由来成分「L-テアニン」を配合。夜中に目覚めるといったことが減り、起床時の疲労感や眠気が軽減されるという。希望小売価格は税抜き140円（410ml）。カロリーは1本51キロカロリーに抑えた。

機能性表示食品はトクホに比べ、商品化のハードルが低く、メーカー各社が種類を増やしているが、日本コカの機能性表示食品は今回が初めて。健康志向が高まるなか、コーラなど既存の商品は一段の成長を見込みにくくなっているため、健康を前面に打ち出す商品の品ぞろえも増やす考えだ。

機能性表示食品はメーカーが機能性を示す論文などを消費者庁に提出・受理されれば、届け出から60日後以降に発売できる。食品が持つ効果や安全性を国が審査・許可するトクホに比べ、開発や審査にかかるメーカーのコストは軽減される。

食品・飲料メーカーには新商品をトクホから機能性表示食品にシフトする動きもある。富士経済は2016年の機能性表示食品の市場規模を15年見込みの2.3倍の699億円と予測。一方、トクホは3840億円となり、6年ぶりのマイナス成長になる見通しだ。

機能性表示食品がスタートして1年が経った。様々な商品が誕生したが、トクホでは安全性が確認できないとして審査落ちだった成分が機能性表示では受理されたという例もあつたりする。「情報提供が不十分な中で消費者に自己責任を求めるのはおかしい」と専門家が話すようにまだまだ問題点が多いように感じる。今後も議論を重ねながら市場は伸びていくと思うが、消費者を惑わせることのないようにしてもらいたい。

---

2) 「あなたのピザは今ここ！ ドミノ、スマホで追跡」

私のピザは今どこ？ 宅配ピザのドミノ・ピザ ジャパンは、配達ドライバーの現在地をスマートフォンで確認できるサービスを始めた。全地球測位システムで位置を把握し、利用者が待ち時間を楽しめる。配達状況を追跡するサービスは業界で初めてという。一部地域で導入を始めており、5月15日までに全国展開を目指す。

サービス名は「ジーピーエスドライバートラッカー」。利用者は注文したピザの配達状況や、届ける道順、到着予定時刻などをスマホの地図上で確認できる。同サービスはピザの調理工程をリアルタイムで確認できるサービス、「ピザトラッカー」を利用した後に始まる。ピザができ上がり、ピザトラッカーの画面が「DELIVERY」に達すると自動的に画面が切り替わる。

ドライバーのアイコンが地図上を移動し、到着の予定時刻などが示される。サービスを利用するのに追加料金などはかからないが、対象はネットで注文した人に限られる。同社によるとピザが注文してから配達されるまでの時間は約20分。「あの角曲がった」「もうすぐ玄関」など、待ち時間も楽しめるようにして客数増につなげる。名古屋でのテスト運用は好評だったという。

今まではデリバリーというと、時間がかかるので急いでいるときには向いていないという印象だった。ドミノピザは混み具合にもよるが20分程度で配達されると聞いてデリバリーも進化していると感じた。ピザの待ち時間には良いサービスだが、郵便など一般の配達にも利用されるとなると、宅配員の負担も増えかねない。今後の宅配業界に期待しながらどう発展するのか気になるところだ。

---

### 3) 「ハラル対応、ネットで指南 ハラル・ジャパン協会が開講」

ハラル対応はネット座学から――。日本企業のハラル対応ビジネス支援を手がけるハラル・ジャパン協会は、ハラル認証などについての基礎知識がインターネットで学べる講座を開講した。一般社団法人社会整備サポート協会と組んで、ハラルビジネスに関心がある経営者などを対象に、eラーニング形式で講座を提供する。

ハラルは豚肉を使わないなどイスラム教の戒律に沿っていることを示す。食品や化粧品など多岐にわたり、世界各地にある第三者機関が認証する。受講者はネット上で会員登録を済ませると1講座につき税別、5000円で受講できる。講座ではハラル認証などに関する基礎知識を学べるほか、習熟度をチェックするテストも受けられる。履修の進捗なども確認できる。

同協会はハラルビジネスに関するセミナーや研修会を年100回以上開催している。本格的にセミナーなどを受講する前に、制度の基本的な概要などをまず学びたいという人向けに開発した。ハラルビジネスに関心のある企業や地方自治体からの要望が多かったという。実際にハラル認証を取得するには、原材料や工場の厳しいチェックが必要だ。

ハラル対応の需要が高まる中、何から手をつけてよいかわからないというのが日本国内企業の現状だ。ネットでの講座だと身近で手が出しやすいので入り口として利用しやすい。日本国内の税収を増やすキーになるのはインバウンドだと言える。消費を増やしてもらうためにはハラル対応などを含めた観光客へのアピールが今後さらに重要になるだろう。

#### 4) 「がん患者様向けの食品通販サイト“らくぱく” オープン」

『らく』＝楽に・楽しく、『ぱく』＝ぱくぱく美味しく食べられる、免疫力に着目した食品を展開。

株式会社スヴェンソンは、がん患者様向けにオススメしたい食品を取り扱う通販サイト「らくぱく」を、2016年4月21日（木）にオープンする。

スヴェンソンは、医療用ウィッグの販売を通じ多くの患者様と接する中で、かねてより患者さんの健康的な食事への関心や抗がん剤治療に伴う副作用による味覚の変化・食欲不振などの悩みを伺ってきた。

がん患者の方にとっての食事は、治療を継続するための体力づくりにとって大切であることから、治療中、治療後の生活を食事の面からサポートできないかと考え、食品通販サイト「らくぱく」を立ち上げることとなった。

今後、本サイトでは、がん患者の方を応援する食品提供のほか、治療中に役立つ食の情報コンテンツとして、がん病態栄養専門管理栄養士であり大妻女子大学家政学部教授でもある川口美喜子氏による治療中の副作用や栄養を考えた簡単レシピや健康情報も紹介していく。

【サイト概要】サイト名：らくぱく

オープン日：2016年4月21日（木）

取扱商品：免疫力に注目した乳酸菌17種類1兆個配合食品、有機JAS食品、他

販売アイテム数：約10アイテム（オープン時）

がん患者の方が毎日食事を、『らく』＝楽に・楽しく、『ぱく』＝ぱくぱく美味しく、食べるための食品として、「①腸内環境を元気にするチカラ」「②からだを温めるチカラ」「③野菜の持つチカラ」の3つのチカラの観点から免疫力に着目、特に乳酸菌配合食品にこだわった商品を提供する。

がん患者向けという事で狭いシェアの中でどれだけ需要があるのか、どのくらいアイテム展開が増えていくのかが気になるところだ。いくら悩みを知っているとはいえ、デリケートなシェア層に向けてヘアケアメーカーがどこまで展開できるのだろうか。